

# acevo Impact Report 2005/06

～最前線から～

## 目 次

- 7 acevo (アキーボ) とは
- 10 繋ぐ
- 13 能力開発
- 17 代表する
- 22 今後の acevo

発行者 acevo

第1刷 2007

著作権表示 acevo

Copyright©2007 acevo

無断複写・転載を禁じる

本出版物のいかなる部分も、著作権所有者からの書面による事前許可を得ることなく、送信・マシン語による翻訳等を含めいかなる形においても複製を禁止する。

## acevo とは

2006 年は acevo にとって素晴らしい年であった。

特筆すべきこと

- ・メンバーが 2060 名に増加
- ・acevo のリーダーシップとしての役割が全国的に注目を集めた。
- ・さらにメンバーを繋ぐような素晴らしいイベントを第 1 級のスピーカーを迎えて実施
- ・サードセクターリーダーのヨーロッパネットワークの拡大
- ・専門的能力開発が継続的な成果をあげた
- ・フルコスト回収トレーニングの一般化
- ・社会的企業フォーカスの第 1 回会議
- ・バーチャルラーニング資料センターの開発
- ・サードセクター公共サービス実施についての政府行動計画の発表
- ・セクターの長期的資金委託の達成
- ・サードセクターオフィスの創設
- ・セクターリーダーのマスコミでの認知度のアップ
- ・慈善基金登録

20 周年記念を迎えるにあたり CEO に格別な意見の表明はなかった。

### acevo の存在理由

acevo のミッションは NPO セクターのリーダーを繋ぎ、能力開発し、代表することである。

acevo は現代化された事業体である。

1. 熱心に働く専門的な組織であり、依頼者、スタッフ、ボランティア、その他の関係者全員とともに最高の専門性を持って仕事をし、資金の流の形成、運用、調達活動を効率的効果的に実施する信頼性の高い組織である。依頼者、スタッフに代わり変革を追求し、事業で高い成果を挙げている。

2. リーダーシップにすぐれ、組織内の全レベルでリーダーシップの評価と奨励に関わり、継続的な能力開発が組織力の中核となることを認識している。効率を高めるためにスタッフへの適切な訓練とサポートを提供し、社会のダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（受容）に積極的に関わり社会の可能性を評価し活用する。
3. ガバナンスと説明責任の面では、目的に合致したガバナンス構造、システム、プロセスがあり、説明責任を保証、自立性を維持しながらも効率的に意思決定を可能にする。経営者も経営者でないものもその役割を互いに補い、理解し尊重しあい、役員採用、支援、能力開発を効率的にできるようにする。クライアントや共同体の必要性を反映するようにミッションと業務を実現し、出資者や一般の人達に説明責任を果たし、透明性を確保する。
4. 事業体としては、インパクトを強め、変化を達成するために改革と活動を積極的に進める。acevo の政策や戦略、方法そのものも含め、社会に存在する課題に継続的な改善を視野に入れながら積極的に挑戦する。健全な収益を確保しながら出資に対する余剰を生み出し、成長し、持続的に発展できることを目指している。

## 会員と組織収入

2006 年の 11 月末、UK およびヨーロッパ内の会員数は 2060 名に達した。

### 円グラフ（UK 内の会員数）

キャンペーン活動からサービス実施まで、専門的な会員組織から信仰団体まで活動領域、活動範囲は多岐、広範囲にわたっている。

### 円グラフ（acevo 会員の組織ごとの収入）

acevo 正会員には以下のような特典がある

- ・ acevo のイベントを通じ、NPO セクター会員間の支援やネットワークにアクセスできる。
- ・ NPO セクター CEO を対象とした有数の代表組織の会員権を得ることができる。

- 法律、資金調達、会計サービスに対する無料アドバイス
- 150 以上の専門的能力開発イベントへの割引と優先的アクセス
- バーチャルラーニングセンターへのアクセス
- acevo 出版物が割引価格で購入できる
- 専門サービスを割引価格で提供
- ニュースレターやネットワークを通じての NPO の最新の政策及びニュースの配信・時事的政策課題に関し E メールによる更新
- NPO 誌の無料購読
- RSA (Royal Society of Art) と IoD(Institute of Directors)の会員割引
- New Cavendish Club (ロンドン) の無料会員権

## 繋ぐ

「諸外国のリーダーと話し、自分の新しい役割について新しい視点を得、私自身のキャリアプランや組織戦略を改善することができた。」

Karen Wright, CEO, Clare House Children's Hospice

繋ぐことは acevo の本領である。

会員の規模、守備範囲の広さが acevo の強みのひとつであり、acevo のイベントが会員同士の知識や経験を共有する大切な機会となっている。acevo は、政府や重要な政策立案者や他の統括組織やプライベートセクターを繋ぐ。

- ・ 2006 年には 2000 人以上の代表者がイギリス国内の 150 以上のイベントに参加した。
- ・ 年次大会は国内最大の NPO セクター会議であり、acevo 会員及び議長 500 人が参加した。
- ・ 春季大会は、初めて社会的企業に的を絞った会議を開催し、様々なプログラムとレストラン Fifteen の提供による昼食会に 200 人以上が参加。
- ・ 2006 年にはその他に主要な会議が 3 回開かれ、ヨーロッパ全体や世界中からの代表者を迎えた国際会議を含め 600 人以上の代表者が参加した。

### 2006 年の会議のスピーカー

- ・ Rt Hon Tony Blair MP,
- ・ Mark Thompson, Director General, BBC,
- ・ Sir Michael Lyons,
- ・ Lord Sandy Bruce Lockhart, Chair Local Government Association,
- ・ Rt Hon Oliver Letwin MP,
- ・ Rt Hon John Hutton MP,
- ・ Richard Reeves, Co-founder of Intelligence Agency,
- ・ Ed Mayo, Chief Executive, National Consumers Council,
- ・ Chris Huhne MP,
- ・ Ella Pamfilova, Chair, Council of Civil Society Institutions and Human Rights under the President of the Russian Federation,
- ・ Phil Woolas MP,
- ・ David Willetts MP,
- ・ Prof Mary Kaldor, Director, Centre for Global Governance, LSE,
- ・ Rt Hon Hilary Armstrong MP,
- ・ Ed Miliband MP, and
- ・ Campbell Robb, Director, General Office of the Third Sector

- acevo は過去 2 年間に 30 数カ国の NPO セクターの 1500 人以上のすぐれた人材と関係を築いてきた。ヨーロッパネットワークの成長により全会員はさらに有能なリーダーのための新しいスキルやアイデア、刺激を得る機会を与えられた。
- 2006 年には 250 人以上の acevo 会員が主要国際 5 会議に参加した。
  - ボロンガでのクリエイティブコミュニケーションワークショップ、
  - ロンドンで開催された英仏間ワークショップ（「新しい'Entente Cordiale' に向けて」）、
  - ロンドン開催 acevo の国際会議（「異なる物語、共通の未来」）、
  - ブリュッセルでの Peter Mandelson 氏との会食、
  - スtockホルムでの先進的公共サービスワークショップ

#### 国際イベントに参加した会員の声

(写真)「ストックホルムのワークショップで、いい経験を得た。現在の仕事や組織の評価について考えるよい機会だった。取り組まなければいけない新しい発想や新しい仕事に刺激を受けた…」(ニコラ・ヨーン、サザン・フォーカス・トラスト CEO)

(写真)「諸外国のリーダーとの会話で自分の新しい役割についての視点を得、私自身のキャリアプランや組織戦略を改善することができた。」(カレン・ライト クレアハウス子供ホスピス CEO)

- さらに大きな組織からの会員でグループ「トップ 300」が構成され、4 回の会議が開かれ代表 200 が参加した。Lord Chancellor (大法官)、トロントンのフォルコナー氏もスピーカーとして参加した。トップ 300 の会員は大組織に関連したリーダーシップと対策についての状況報告を受けた。
- 政策立案や政府に働きかけるために仕事をし、主要な役割を果たす特定セクターの acevo の会員が集まった。現在、健康・社会医療、教育、持続性、犯罪問題、専門職協会、若い経営責任者、BME (アフリカ系、少数民族出身) の CEO などの部会で業務をする会員が含まれる。

2006 年は Colin Challen 議員、 Bernard Taylor 教授、 Centre for Board Effectiveness at Henley Management 大学学長、Tine Rus、デンマークの社会活動専門指導者、 Rt Hon Ed Miliband 議員 などの有識者をスピーカーとして迎えた。

このようなグループ主催の会議が 2006 年に 20 回開かれ、400 人以上の会員が関わった。メイドストーン、マンチェスター、ブリストル、バーミンガムなどイギリス中でネットワーキング朝食会が開かれた。

- acevo の繋がりをつくるという役割の大切なポイントは会員のためにあらゆる機会に発言し、組織の業務について主張することである。acevo のスタッフは本年、地方自治体を含めたイギリス内の様々な組織を代表して会議で発言した。

組織には以下のようなものがある。

- Chelmsford CSV,
- Shropshire Partnership,
- The ‘Future of Local Government’ Conference,
- Funding the Future in Newcastle and London,
- Making the Compact Work ・ Delivering Together in Birmingham,
- Capita Conference on Third Sector Commissioning,
- CBI Competitive Neutrality Seminar,
- Multiple Sclerosis Society,
- Association of Managers in Students’ Unions,
- Promoting trusteeship at Shell, and
- NASS conference.

次のような主要国際的なイベントでも発言した。

- The Civil G8, Moscow,
- The Swedish Prime Minister’s study group on Third Sector Service Delivery,
- Mission Australia, Sydney, and
- The National Conference of the Israeli Third Sector.

北イングランドの NPO リーダーをまとめ、年間 100 万ポンド以下の組織を運営する会員のネットワークをつくるために acevo North 計画を発表し、2007 年初に会議をスタートさせる。

## 能力開発

「バーチャルラーニングリソースは、大変価値があると思いました。情報を探し閲覧するのが簡単で、必要なときに必要な場所を見ればよい。素晴らしい acevo の会員特典だと思います。提供していただけてありがとう。」

acevo は専門団体として、NPO のリーダーに能力開発に真剣に向き合うことを求め、能力開発のあらゆる機会を提供することを求める。

- 2006 年には 192 日間の能力開発セミナーを会員対象に企画した。
- 名門 Ashridge と Cranfield のコースは非常に成果を上げている。Ashridge コースは、上級リーダーシップ開発コースであり、最新の強みと開発のニーズの捉え方、重要なリーダーシップ分野での最新の発想へのアクセス、同様な課題に面している他の CEO との密接なネットワーク等を参加者に提供する。

Cranfield3 日間集中コースは経験あるリーダーの養成コースであるが、変化や変形するリーダーシップを支援する考え方やツールを提供し、参加者がサポートしあい、自身のリーダーシップスタイルを見直すことにもなる。

- acevo は 2006 年に非常に人気のある New CEO コースを 58 名に実施した。このコースは Cass ビジネススクールを引き継いだもので、リーダーシップ、マネジメント、ガバナンス、理論調査、応用等を包括的に理解できる方法を提供し、同時にグループ内での会員同士のサポートも提供する。

### 「新 CEO コースは私の人生を変えた」

- 次世代 CEO コースはイギリスの主要 3 都市で企画された。Cass 運営のこのコースは次期最高責任者を目指す人のためのコースである。リーダーシップと経営に不可欠の重要課題への構造的な導入を提供する。理論とその応用の調査、CEO に必ず必要な要求と圧力に対処するための専門能力を提供する。CEO コース期間に、参加者相互のサポートグループが発展し、CV(履歴書)や就職活動のコツや秘訣も提供された。



- **acevo** ではさらに多くの会員が **loD/acevo** の企業監督分野を終了し、役員になっている。十分に試行された **loD** コースは、**NOP** セクターのニーズに適合していて、優れた実践の設定基準に基づいて知識やスキルを評価する機会を提供する。非常に高度な相互作用的なプログラムであり、参加者はディスカッションや参加者同士のグループ活動で課題を深く理解することが出来る。
- **リーダーシップセンター**は全国ボランティア組織評議会（**NCVO**）とのパートナーシップで設立された。リーダーシップの価値に対する認知度を上げ、人々の技能や能力開発のニーズを識別することで役立ち、リーダーシップ能力養成へのアクセスを改善し、能力形成の利益を示すことで、**NPO** リーダーシップ能力開発の重要性を推進するため働いている。
  - 2006 年初にはバーチャルラーニングリソースセンターを **Ashridge** と共同で発足させた。この専用サービスは **NPO** リーダーの支援のために考案された豊富な能力養成情報に会員だけがアクセスできるというものである。

バーチャルラーニングリソースセンターには優れた研究者が記した 50 以上の学習ガイド、ポケットブック、書籍の要約、論評、産業トレンド、役立つホームページへのリンクが含まれる。

このホームページへのアクセスは **acevo** の会員に限定される。

「…会員との効果的で能率的な資金調達と契約を確保するための大切な手段としてシュアラー基金の実施を促進する…」(戦略プランより)

シュアラー基金の方針は、2004 年のリスクの共有、官僚主導事業の経費節減および時間の節約そして公正なコストと価格を求める **NPO** との契約を要求する調査委員会がもとになっている。2006 年政府のコンパクトプラスは進行中のこのキーレポートおよび、2006 年 12 月にスタートした公共サービスの分配に関する政府のアクションプランの内容に大きな影響を受けて作成されている。

- 全国ボランティアアクション協会（**NAVCA**）と連携し、包括的なフルコスト回収に関する地域インフラ組織のためのトレーニングプログラムを開発運用した。2006 年中に全国で 23 コースを開催し、175 人をフルコスト回収のテンプレートを実施するトレーナーとして養成し、地域インフラ組織を通じて末端の **NPO** にも行き渡らせた。次回のフルコスト回収プログラムは 2007 年に予定されている。

「最先端の調査と政策、リーダーシップ支援を提供する出版物を刊行する…」  
(2006年の戦略プランより)

2006年に刊行した主要な7冊の出版物

- loF と CFDG との共同事務所と近代化についての共出版、
- 'Mind the Gap'(「すき間に注意!」) - 創業者対象のフルコスト回収についてのマニュアル、
- 'The Case for Change'(変化の事例)- ショートラスト発行、雇用に関する問題解決手法に関する NPO のさらなる役割についての議論の概要、
- 'Guidance on the Legal Status of Charity Chief Executives' (慈善団体最高責任者の法的地位についての案内書) - Bates Wells Braithwaite Colicitors との共同出版
- 'Choice and Voice' by Stephen Bubb (選択と声) - Ditchley Park 公共事業分配に関するシンポジウムで会員に配布された資料の解説記事
- 'Raising our Game' (腕をあげる) - acevo の給与調査
- 'Doing Good and Doing Well?' (良いことをする、上手にする) - 年次総会に発売されたもの。NPO セクターの業績評価を調査する。学界、公的部門、主要 NPO セクターの指導的な解説者や論文や事例研究が収められている。

その他の出版物

DEMOS 出版から

- アストリッド・キルヒナー (Astrid Kirchner) Nick Aldridge (ニック・オルドリッジ) 著 'Production Values- Futures for Professionalism' (プロダクション・バリュー-専門性の未来)、
- レイナー社会マーケット基金出版から  
ニック・オルドリッジ (Nick Aldridge) ステファン・バブ (Stephen Bubb) の著作として
- 'Returning to its Roots? A new role for the third sector in probation' (原点に戻る-保護観察における NPO セクターの新しい役割)
- 'Routes to Enterprise' (事業活動の原点-春季大会社会的企業に添付された追補)が発行された。

2006年には多様な NPO セクターの最高責任者を今まで以上に支援し続けた。acevo の年次給与調査によると NPO セクターの役員間に多様性の欠如がかなり見られ、NPO セクター CEO (最高責任者) に関する統計でも不本意なものであった。

acevo では BME（アフリカ系、少数民族出身）の会員で構成したグループに会員間の支援、助言、ガイダンスを提供している。意欲的なマイノリティー出身 CEO に、資金状況によってトレーニングプログラムを提供したいと考えている。12月に開催された「Top 300」のイベントでは NPO セクター内の多様性に関する業務ケースがプレゼンテーションで発表された。

## 持続可能性

持続可能性に関する特殊利益団体の会員活動以外に acevo 自体も持続可能活動を進め続けている。acevo のオフィスに持続可能政策をとり入れ、ブリッジハウストラスト（Bridge House Trust）後援のエコ監査を受けている。環境保護に配慮した事業所として可能な限り努力し、スタッフにも持続可能性に配慮して活動するよう促している。

2006年には、生活保障賃金条例（Living Wage-スタッフはロンドン市内で普通に労働し生活を維持するために必要な生活費を支払うという取り組み）に署名した。

## 代表する

「会員は改革のために長い間キャンペーン活動を行ってきた。大蔵大臣が基金を3年標準とするという発表を歓迎する。」(ステファン・バブ・ファイナンシャルタイムズ)

acevoの強みは、業務提携とコンサルタント業務であり、検討課題の設定、政策立案者と直接会う機会の提供、セクターやacevo事業活動についてマスコミの注目を高めるため、懸命に取り組んでいることである。

- ・ 2006年1月、acevo役員はダウニング街の首相官邸にて首相と会談、NPOセクターを通じての公共サービス実施についてのアクションプランを要求。このプランは12月初めに実行され、公共サービスの形成や分配におけるNPOセクターの役割を前進させるのに新たな1歩をしるした。首相はacevoとの会談により、基金を3年標準とし多くの大切な分野で、サービス分配でのセクターの役割拡大のための障害を取り除く計画に取り組むことを約した。acevoでは現在この政策を進めるため他の傘下のセクターと緊密に働いている。
- ・ 10月にはacevoの提案に多大な影響を受けて、地方自治体白書にNPOセクターとの関係に関する章が作成され、長期基金や地方サービスの計画や分配に関してNPOセクターの関与の義務づけ等を中心としたacevoの提言が取り入れられた。数年にわたって地方自治体と強い関係を築き、2007年にジョイントイベントを実施する。
- ・ 2006年にはまたCBI(英産業連盟)およびNCC(消費者委員会)とともにサービスの利用者を中心とした公共サービスをターゲットとしたクロスセクターキャンペーングループとしてフューチャーサービスネットワークを結成した。このネットワークの6方針は[www.futureservicesnetwork.com](http://www.futureservicesnetwork.com)で見ることができる。

6月には公共サービスの改革を議題としたサミットを首相、大臣達を迎え実施した。acevoのキャンペーンの成果のデモンストレーションも行われ、メディアから大きな注目を集め、acevo会員の素晴らしい成果も採り上げられ議論を更に深める刺激となった。

(写真)ブレア首相とステファン・バブ代表 2006年6月ロンドンでのフューチャーサービスネットワークにて

- 2006年は内閣府にNPOセクター部門が創設され、2004年以来提言を続けてきたacevoやこの計画の支持者はこの動きを歓迎した。これに続いてエド・ミリバンド議員や同部門の上級職員とacevoは良好な関係を築いた。
- acevoは社会正義政策団体の業務に重要な役割を担った保守党とも緊密な連携をとりながら活動し、12月にその中間報告が作成された。acevo会員は2007年の初めに同党の政策のさらなる進展のため、同団体と会合を開く。オリバー・レットウィン、デビッド・ウィレット議員をacevo会議でのスピーカーとして迎えた。
- NCVO（全国ボランティア組織評議会）と連携してチャリティー法に積極的協力的な役割を担った。その法律は11月に最終的に承認された。
- 社会企業連合でも積極的な役割を担い、政府の社会的企業行動計画の策定に参画し、この計画は11月に発行され歓迎された。
- 社会的排除に取り組む政府行動計画にも関わり、社会的排除に対する取組みにおけるNPOセクターの役割の重要性が知られた。
- acevoの政府包括的業績見直しに関する「シンクタンク」イベントではロンドンとバーミンガムの会員と国家財政委員会委員長および主要野党議員が集合しNPOセクターとその指導者との関わりについて討論した。CSR（包括的歳出見直し）協議に関するacevoの提言はこの討論によるところが大きい。また、DoH（イギリス保健省）、DfES（教育技能省）、DWP（労働年金省）など多数の部門別調査グループを代表している。

この春、保健省は助成金を得たacevo会員から64条に基づく資金をacevo会員から引き上げると警告した。acevoはこの決定に影響を受ける会員を組織化し法的手段に訴える準備をした。acevoの強硬な姿勢により政府は後退し助成金は復活した。

DfES（教育技能省）、財務省（HM Treasury）、内務省（Home Office）、慈善事業委員会、資金調達協会など多くの政府部門およびNGOからの重要な相談に直接応じた。協議におけるNPOセクターの役割が高まるなかで、公共商業サービス組合（公務員労組）や右派のシンクタンクである政策研究センターなどの批判的なレポートに迅速に反論した。

- ・ 2006年9月 acevo メンバーの1グループと他の有力な専門家とジョセフ・ローンツリー財団は オックスフォードシャー 州のディッチリー・パークで公共サービスと NPO セクターについてのシンポジウムを開催した。

(写真) ディッチリーシンポジウム

- ・ acevo グループが積極的に関わることによって、メンバーは多くの分野で政府と緊密な関係を保ちながら活動している。保健社会グループは保健社会関連問題の先導的で優秀なロビーグループとなっている。持続可能性グループは NPO セクターに指導的な役割を果たし、2007年にはセミナーをシリーズで行うための作業をしている。教育グループは論議を呼んでいるトラストスクール問題に強力な存在感を発揮している。また、犯罪問題グループは、2007年初めに犯罪者にサービスを提供する NPO セクターに配布する文書の草案を準備している。

#### マスコミ関連

acevo の事業は「Third sector 紙」や全国報道でマスコミの注目を広く集めている。Third sector 紙で第1面に記事が掲載されたのは7回にのぼった。その他マスコミに引用されたのは150回、直接ニュース記事として取り上げられたのは50回であった。

acevo の方針や出版物はメディアでの注目度を高め続けている。

- ・ フューチャーサービスネットワーク会議は、ガーディアン紙、ファイナンシャルタイムズ、デイリーテレグラフなどに採り上げられた。
- ・ 年次総会はタイムズ・パブリック・アジェンダの協賛を受け、公共サービスや年間給与調査などの acevo の事業についての特集記事も組まれた。
- ・ パブリック・サーバント誌、ローカルガバメント年史に最高責任者ステファン・バブが記事を書いた。ニック・アルドゥリッジは引き続きソーシャル・エンタープライズ誌にコラムを書いている。
- ・ アストリッド・キルヒナーの論文やベン・ラテンベリーとフィリップ・アッダリの協同提案がパブリック・サービス・リーダーシップの12月号の特集記事となった。

マスコミに掲載された acevo の報道記事

#### Gurdian 紙

…acevo によると評議会議長、代表者の 97-94%が白人であり、70%が男性であるとのレポートを発表した。政策責任者は共同体を適切に代表するためには多様性は不可欠であると述べる…

#### The Times 紙

…ブレア首相はボランティアセクターに公共サービスの分配に関し、さらに大きな役割を与えるよう申し出た…

#### Financial Times 紙

…慈善団体サービス、サードセクターに対し、財務大臣がセクター対象の 3 年基金を約した…

#### The Economist 紙

…acevo の代表のステファン・バブ氏は「政府は労働組合の幹部を怒らせたくないため、最終的に後退するのではないか」と語った…

#### Third Sector 紙

…acevo は NPO セクター費用の遅延を終わらせるよう要求した。…

- acevo は 2006 年の会員の管理問題について先導的な役割を果たし続け、ベイツ・ウェルズとブレイスウェイト は CEO の法的地位についてのガイダンスを作成した。2007 年にはセクター管理協定の主要調査を発表する予定である。
- ガバナンスとファイナンスハブ（管理経営ハブ）に 2006 年から参加し、プログラムで活発な役割を果たした。キャパシティービルダーの構築についてより効率的にハブの業務を行うよう簡素化統合を化主張し成果をもたらした。
- 研修機関のティーチ・ファスト、国王基金のパートナーとして会員や成績優秀な卒業生と連携し NPO セクターの採用活動の確立について調査した。
- 中間支援組織 と連携し、2000 以上の地方自治体や審議会のために NPO セクターとの折衝を支援するため 5 つの課題について報告書を作成した。これにはフルコスト回収、シュアラー基金、公的補助金資産譲渡、公的に設定された資金を含める。この報告書作成とともに 6 回にわたる地域セミナーが進行中である。

#### 党大会での acevo

2006 年秋にも acevo は全主要会議に代表として参加した。

- ・雇用サービスにおける NPO セクターの役割に関する TUC 大会や保守党の会議にニック・アルドゥリッジが出席。
- ・ショートラスト、PCS ユニオンなどの労働党会議の分科会でステファン・バブが出席。
- ・自由民主党会議で宝くじの役割に関し、デイビッド・ハンターが出席。

(写真) デイビッド・ハンター acevo 政策情報管理官 2006 年自由民主党会議にて



## 今後の acevo

### 2007年-重大な年に向かって

2007年は acevo 創立 20 周年であり、過去 20 年を記念し今後の 20 年を見据えてイベントや出版事業を行う。

### 視点

次の 10 年に向けた戦略的優先事項を定め、2007 年初めにメンバーの調査を実施する。メンバーが acevo の価値として認めているもの、acevo の事業やサービスに求めるものなどについてメンバーの意見を求めたい。

調査に応え、それぞれの団体の将来像を描く機会となることを願う。

### 民間パートナーへの謝辞

民間パートナーの支持があったからこそ acevo は成功したといえる。acevo のイベントや出版活動の主催や支援をいただいたことに謝辞を述べる。特に RBS のヒュー・ビデル氏、ロックプールのディビッド・フィールディング氏には acevo 会員の戦略的パートナーシップを発展させるため緊密に連携を図っていただいたことに感謝する。